

令和3年12月三田市議会定例会(第364回)一般質問発言通告一覧

(第3日・12月13日 個人質問)

12番 大西 雅子 <一問一答>

- 1 避難所の改善について
 - (1) 避難所におけるトイレ環境の改善について。
 - (2) 福祉避難所の確保・運営ガイドライン改定を受けての福祉避難所の対応等について。
 - (3) 福祉避難所協定施設の活用について。
- 2 貧困対策について
 - (1) 生理の貧困対策について。
 - (ア) 生理用品の支援対策について
 - (イ) その他の対策について
 - (2) 生活困窮者対策について。
 - (ア) 就労準備支援事業の進捗状況等について
- 3 性教育の推進について
 - (1) 学校における性教育について。
 - (2) 自尊感情を育む性教育について。
- 4 聴覚障害者(児)への支援について
 - (1) 「三田市みんなの手話言語条例」施行後の普及啓発の進捗状況等について。
 - (2) 人工内耳装用者(児)への支援対策について。

22番 厚地 弘行 <一問一答>

- 1 学校再編の検討について
 - (1) 教育委員会は三田市立学校のあり方に関する基本方針について運用を見直すことと、その上で学校再編全体の方向性や考え方を年度内に示していくとされているが、何についての見直しや方向性を意味しているのか。とりわけ小学校についてはその動向が気になるが、市の検討の時期、市民への説明の時期等のスケジュールについて聞く。
- 2 職員給与の評価について
 - (1) 今年9月東洋経済オンラインの公務員給与の調べで、全国1,788自治体の内三田市職員の給与が14位と発表され、市民からは高いのではないかとの意見が聞かれる。この調べに対して市はどのように考えるのか。また職員の仕事の出来ぐあいとなる人事評価と給与との連動はどの程度進んだのか。
- 3 三田青磁の存続と普及について
 - (1) 今では三田青磁を作る唯一の陶芸家とも言われる伊藤瑞宝氏の講演が市内であったが、その存続に危機感を感じる。三田青磁の存続と普及、また兵庫県との連携について市の考え方を聞く。
- 4 三田ビール検定から最大のまちづくりについて
 - (1) 三田市が行うビール検定を更に拡大させてビールを楽しむ会、ビール談義、ビール大使、ビール記念日の制定などあらゆるビールに関する事を三田市から発信してはどうか。ビールで魅力あるまちづくりは無限に広がると考えるがどうか。

13番 長尾 明憲 <一問一答>

- 1 市民病院再編統合問題の諸課題について
 - (1) 市が再編後の新病院に求める医療は何か。
 - (2) 指定管理者制度の問題点について。
 - (3) 約225億～約320億円と具体的に出された建設費について。
- 2 市民病院再編統合に対して市民、利用者の声をどのように反映させるのかについて
 - (1) これまでにも市民病院の再編統合問題について、市民と議論することを求めてきた。なぜ今になって「市民意見交換会」を実施しようと考えたのか。
 - (2) 「市民意見交換会」について、極端に人数など制限をしたのはなぜか。今後、開催する場合には極端な制限をかけるべきではないと考えるが市の見解を伺う。
 - (3) 全市民を対象とした再編統合に対する意識調査的なことをするべきではないか。また、市民病院は市民だけでなく、市外からの利用もある。利用者の声も大切にしなければならないが、どうその声を集め反映するのか。

4番 福田 佳則 <一問一答>

- 1 今後の新型コロナワクチン接種の対応について
 - (1) 3回目の接種体制について。
 - (2) 丁寧な情報提供に向けて。
 - (3) 未接種者への対応について。
- 2 学校現場での課題解決に向けて
 - (1) 教員の業務負担の見直しについて。
 - (2) マルチメディアデイジー教科書の活用について。

20番 松岡 信生 <一問一答>

- 1 子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）積極的勧奨の再開について
 - (1) 積極的勧奨の再開に向けた情報提供と周知対象及び周知方法等について。
 - (2) 接種実施医療機関における接種体制整備と接種時期について。
 - (3) 定期接種対象年齢以外への救済制度導入時の情報提供等の考えについて。
- 2 コロナ克服・新時代開拓のための経済対策について
 - (1) 「さんだ里山スマートシティ構想」と「デジタル田園都市国家構想」との関連した取り組みについて。
 - (2) マイナンバーカード活用による市独自のマイナポイント付与及び消費喚起事業等の取り組みについて。
 - (3) 農業者や生活困窮者等の暮らしを守る支援について。
- 3 「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けた戦略について
 - (1) 市独自の「グリーンライフ・ポイント」推進事業の取り組みについて。
 - (2) 地球環境に配慮した暮らし方への強いメッセージ性を持つ発信について。
- 4 社会経済活動等の再開に向けた取り組みについて
 - (1) 「ウイズコロナ」下における行政の主導的役割と支援の考え方について。
 - (2) 「ワクチン・検査パッケージ」を活用しての諸行事やイベント開催及び地域産業や観光振興等の推進について。

18番 檜田 充 <一問一答>

- 1 コロナ禍の下、市民の不安をどう払拭するか
 - (1) ワクチン接種等新型コロナウイルス感染症への不安をどう払拭するのか。
 - (2) 市民病院の医療体制に対する不安解消に向けた取り組みは。
 - (3) 家庭の経済状況等が影響する教育格差をどう解消するのか。
- 2 山林の整備について
 - (1) 枯れ木等未整備の山林が目につくが、対応策をどう考えているのか。
 - (2) 令和6年度より開始される「森林環境税」により山林整備はどう進むのか。
- 3 教職員の多忙化解消について
 - (1) 学期末の多忙化に拍車をかける通知表の記述について。
 - (2) 校務支援ソフトの拡充について。